

「旅行と留学では何が違うのですか？」

今の私なら、「その土地で『生活する時間』があることです」と答えます。旅行は有名な観光地を巡り、評判の店で食事を楽しむことが中心でしょう。一方、留学は毎日の生活そのものであり、そこには常に予想外の出会いがあります。

特に印象に残っているのは、台湾留学中に経験したフランス人留学生との交流です。互いに言語を教え合っていたとき、彼が私の手のひらに漢字を書いて中国語を教えてくれたことがありました。漢字文化圏で育った自分の方が優位だどこかで思い込んでいた私にとって、その出来事はとても新鮮でした。台湾留学で突きつけられたのは「自分自身の偏見」だったのです。

台湾での日々は、私の思い込みを次々と覆してくれました。気候、言葉、地域による違い、そして生活習慣。「知っていたつもり」の知識が、「生活」を通して、身体に染み込む「実感」へと変わっていったのです。

思い返せば、心に残っているのは観光名所ではなく、日常の中で出会った人々や景色ばかりです。旅行でも台湾を訪れることはできます。しかし、私が台湾という場所をほんの少しでも理解できたのは、間違いなくそこで「生活」したからでした。

もし留学の機会があるなら、ぜひその土地で生活してみてください。観光だけでは決して得られない、あなただけの特別な発見が待っているはずです。

